

第 6 回 VMAT 治療計画実習型講習会参加報告

伊勢赤十字病院 医療技術部 放射線技術課
柴原 卓彦

平成 30 年 6 月 17 日～18 日に開催された第 6 回 VMAT 治療計画実習型講習会に参加致しました。

現在、当院での治療計画は、通常照射を医師が計画し、IMRT・VMAT・定位照射等は、医学物理士兼診療放射線技師が計画を行っています。私は照射業務を主に行っており、VMAT 治療計画は未経験です。近々、治療計画メンバーを増員してく予定があり、私もそのメンバーに含まれているため、当院の放射線治療医や上司からの薦めもあって本講習会に申し込みを致しました。申込者多数の中、幸運にも受講することができました。

講習会場では、各受講者の席にモニタが 2 台、左側に受講者が操作する Eclipse のモニタ、右側に講師の方の計画が参照できるモニタがあり、治療計画を学ぶにあたり十分な設備環境でした。受講者は 20 名で、職種は医師、医学物理士、診療放射線技師と様々で、年代も幅広く、治療計画に関して未経験者もいれば経験豊富な先生も参加しているという様子でした。講義は 2 日間にわたって行われ、1 日目の午前には、講師の方から VMAT の治療計画の手順の説明の後、TG-119 の 4 つのケースに対しての治療計画実習、午後から 2 日目にかけては、前立腺と頭頸部の臨床症例での計画実習という内容でした。治療計画実習では、各受講者のペースで計画をすることができ、不明な点や疑問点があった場合は、その都度、講師の方に教えていただきながら進めていくことができました。講師の方から「わからないところがあったら、どんどん質問してください。」というお声がけもあり、多くの受講者が気兼ねなく質問や意見交換をしていました。治療計画の経験がないため講習についていけるか不安でしたが、受講者のレベルに応じた指導を行っていただけだったので安心して実習を行うことができました。特に、私は、Normal Tissue Object の詳細な説明や設定方法、最適化パラメータの Step 毎の調整方法、ダミー輪郭の作成や複数 PTV 時の margin 設定など、講師の方が臨床で実際に使用している方法や考え方も交えて教えていただきました。学習したことを直ぐにでも実践したいという気持ちになりました。講義資料には Tips や、これまで受講された方の質問とその回答も含まれており、受講後も重要な参考資料になると思いました。

懇親会にも参加させていただきましたが、治療計画の話題だけではなく、IMRT の検証方法での悩みや工夫、医学物理士会の今後の動向などの情報を得ることができました。また、他施設の方とも交流を持つことができ、非常に貴重な時間を過ごすことができました。

全体を通して、講師の方々の的確なご指導のおかげで、非常に実りある 2 日間になりました。今後は、本講習会で学んだ技術や考え方を活用し、よりよい治療計画を立案できるように研鑽を積んでいきます。また、講習会資料は当院スタッフと共有し、当院の治療計画マニュアルの作成時に参考にさせていただきたいと思います。今後、治療計画の経験を積み、新たな疑問や悩みが生じた際には、再び参加したいと思う講習会でした。講師の方々、きめ細やかなご指導をしていただきありがとうございました。

最後になりましたが、講習会参加助成金制度を利用させていただき、日本医学物理士会の関係者の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。